

2025 年 08 月 05 日（火）【外為 L a b】松田哲

タイトル：【日本のお盆休み】

来週は日本の「お盆休み」です。

だから、今週末は「お盆休み」に突入する時期に当たります。

そうすると、多くの市場参加者が、
「今週は、積極的には動きたくない」
と考えるのが普通でしょう。

毎年、日本の「お盆休み」のシーズンは、世界中の市場参加者にとっても、「夏休みシーズン」の真っ最中では、取引が閑散となることが多くなります。

つまり、この時期は、世界中の市場参加者の多くが休暇を取っている時で、外国為替市場では、取引が閑散となることが多くなります。

市場参加者が極端に少ない場合は、外国為替市場での値動きが、小動きになりがちです。

実際に、取引量が少ないので、市場に残っている参加者のモチベーションも低下して、ますます停滞感が出てくることが多いのです。

ところが、そのように、市場参加者が極端に少ない場合に、突発的なニュースが出ると、市場参加者が少ないので、大量の取引を消化できずに、プライス（市場価格）が、飛ぶようなことが起こります。

もちろん、突発的なニュースが、いつも起こる訳ではないので、通常の「夏休み相場」は、小動きになりがちなのですが・・・。

そして、今年の「お盆休み」の時期に、『そのような突発的なニュースが出るのか、出ないのか？』は、事前には、誰にもわかりません。

誰にもわからないから、「突発的」なのであり、事前に、予想が出来るようなニュースは、市場のサプライズ（驚愕）にはならないのですが・・・。

+++++

今の時点で、「突発的なニュース」の候補としては、トランプ大統領の言動が考えられます。

ただし、トランプ大統領の言動を事前に察知することは出来ない、と考えます。

(だから、サプライズなのですが・・・)

合意に達したとされる日米の「トランプ関税」に関しても、明確な内容ではなく、曖昧なところがあり、不透明感が残ります。

トランプ大統領が、日本に、何かしらの追加の負担を要求しても、不思議ではない、と考えます。

+++++

日本の政治も不安定です。

石破首相は続投を表明していますが、過半数割れの与党（自公与党）では、先行きがどうなるのか、事前に予想がつきません。

ただし、外国為替市場では、日本の政治が大きなテーマ（材料）になることが稀なので、最重要視する必要はないのかもしれませんが。

+++++

今年は、「突発的なニュース」が起こらずに、静かな「お盆休み」であることを願っているのですが・・・。

+++++

+++++

(2025 年 08 月 05 日東京時間 14 : 15 記述)